

令和元年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部障害福祉課
評価対象期間	H31.4.1 ~ R2.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立三光園
	所在地	山県市大桑3606
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。 ・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。)を行う業務。 ・施設の管理に関すること。 ・その他仕様書に定めること。 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H29	1,333
H30	1,384
R1	1,368

3 令和元年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	295,941
利用料金	293,844
指定管理料	0
そ の 他	2,097
支 出 計	245,914
人 件 費	174,211
施設管理費	23,740
そ の 他	47,963
差 引	50,027
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・事故・ヒヤリハットの取り組みをさらに進めることを期待したい。	・ヒヤリハット様式を現状の手書きからパソコンソフトを使用した新様式とし、ヒヤリハット発生からの流れについて見直しを行った。。また、各フロアにヒヤリハットの掲示用ファイルを用意し、現在発生している案件についてわかりやすく掲示をしました。その上で、毎月の発生件数を分類毎に前月比も記入し各フロアに掲示し再発防止に努めた。
・地域貢献を検証する際、地域に新たな価値を創っていくために施設がどのように責任を果たしたか検証すると良い。	・地域の小学生との交流会で「施設の役割」を説明し、障がいを持っている方への関わり方(車椅子の操作等)を伝えている。また、今年度は岐阜市消防本部からの依頼にて「応急手当協力事業所」として認定交付を行った。今後も地域の方から意見をいただき、地域貢献に努めていく。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いを汲み取り、家族への情報提供に取り組んでいる。 ・正規、非正規職員に全体会議各種研修会が実施されている。 ・利用者、家族からの聞き取りを重視した支援計画が作成できている。 ・維持管理は概ね適正である。 ・重度化、高齢化する中で、施設の運営が恒常化しがちであるので、施設の理念、方針が具現化される施設運営や支援体制は常に検証し進められたい。
設置目的の充足状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引のニーズに応えた資格取得を進めている。 ・月1度、委員による巡回や傾聴に利用者が気軽に相談できている。 ・事業施設報告書を家族会、施設経営委員会に配付している。 ・地域生活支援として緊急時短期入所等の受け入れに引き続き努力されたい。
公共性の確保の状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・与業のマニュアル見直し、入浴支援手順書の周知等で危機管理体制の見直しを行った。 ・疾病別の個別健康支援リストを作成し、日常ケアを充実させ、職員と利用者の情報共有を図った。 ・研修は利用者には質の高いサービスが提供できるように計画的に行われている。 ・市社協の評議委員会に出席し、地域交流に努めた。 ・一人一人の思いに寄り添い自立した生活の支援が理念にあり、その実現に向けて施設として「希望支援の時間」を設けるなど努力している。 ・事故・ヒヤリハットの取り組みをさらに進めることを期待したい。
経営状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の適切配置ができた。 ・物品購入に関して経費縮減に取り組んでいる。 ・収支状況は安定的に推移している。 ・施設独自の支援員等の養成を検討すること。 ・施設の目的達成の為に費用対効果の観点から収支の状況を見る必要がある。
派生的効果	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者芸術文化支援センター等と連携した活動を実施した。 ・支援業務の「見える化」に取り組んだ。 ・福祉避難所の協定を山口市と結んでいる。 ・ボランティア、実習生の受け入れが来ている。 ・地域の行事に積極的に参加する等、連携を深める取り組みを期待したい。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。 ・利用者、家族からの聞き取りを重視した支援計画が作成できている。 ・一人一人の思いに寄り添い自立した生活の支援が理念にあり、その実現に向けて施設として「希望支援の時間」を設けるなど努力している。 ・障害者芸術文化支援センター等と連携した活動を実施した。 ・入所者それぞれのニーズに対応した適切な支援を行えるよう、引き続き検討を重ねていただきたい。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する